

証券コード：7681



2020年9月期第3四半期 決算補足説明資料

2020年8月12日

 **目次**

1	2020年9月期第3四半期累計経営成績	3
2	長期業績推移	8
3	2020年9月期通期業績予想	9
4	配当方針	10
5	会社概要	11

新型コロナ感染拡大の影響

<2020/9期3Q決算における影響>

- 遠隔画像診断サービスにおいて、病院来訪患者数の減少による影響が一部で発現（3～5月度）
 - ➡ 6月度以降は回復基調、連結業績への影響は軽微

<2020/9期通期決算において予想される影響>

- 今期分に関しては現時点で受注環境に変化はない
 - しかし、一部ゼネコンの工事停止措置などにより、病院の新增改築工事に遅れが生じるリスクあり
- 感染拡大・長期化により遠隔画像診断サービスにおける来訪患者数に再度影響が出る可能性あり
- 病院等への訪問営業自粛に伴い、旅費交通費等の営業費用は当初の想定を下回って推移する可能性あり
 - ➡ 現時点でこれら影響は収益見通しには織り込まず
 - 影響の見極めができた時点で、必要があれば見直し修正を実施する予定



2020年9月期第3四半期累計 経営成績①

- メディカルトータルソリューション事業では、従前と同様に、日本全国で営業活動を展開するも、当期は、医療機器の一括販売案件等の大型案件が端境期にあることから、売上高、各利益ともに過去最高を更新した前期を大幅に下回る結果となった
- 遠隔画像診断サービス事業では、4、5月度にコロナ禍の影響による読影件数の減少があったものの、売上高は、概ね想定通り。利益面では読影原価・販管費の増加により想定を下回る結果となった
- 給食事業は、概ね堅調に推移

経営成績の推移

(百万円)	2019/9期 3Q実績	2020/9期3Q		2020/9期通期	
		実績	前年同期比 増減率	修正予想 ('20/2/14)	進捗率
売上高	28,248	15,724	△44.3%	23,558	66.7%
メディカルトータルソリューション	27,499	14,971	△45.6%	22,546	66.4%
遠隔画像診断サービス	425	410	△3.7%	562	72.9%
給食	322	343	6.3%	450	76.3%
営業利益	1,185	22	△98.1%	140	16.1%
メディカルトータルソリューション	1,081	△42	—	44	—
遠隔画像診断サービス	69	32	△53.9%	67	47.1%
給食	31	30	△3.5%	27	111.5%
調整	2	2	—	—	—
経常利益	1,179	26	△97.8%	141	18.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	715	△4	—	61	—
1株当たり四半期純利益 (円)	401.64	△2.49	—	31.93	—



2020年9月期第3四半期 経営成績②

主力のメディカルトータルソリューション事業では、現時点において新型コロナウイルス感染症が当期の業績に与える影響は軽微であると判断。受注環境に大きな変化はなく、各案件の進捗は概ね想定どおりながら、当期は特に大型案件が4Qに偏重するため、営業損失を計上するに至った

経営成績の推移

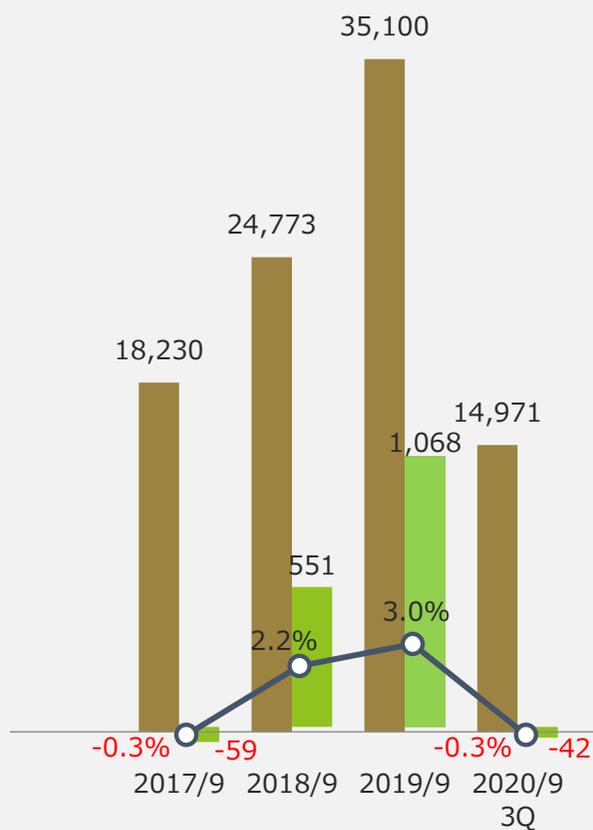
(百万円)	2018/9期		2019/9期				2020/9期			前年同期比
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
売上高	4,701	7,657	10,782	6,155	11,310	7,860	6,208	6,132	3,384	
メディカルトータルソリューション	-	-	-	-	-	-	5,944	5,887	3,140	-
遠隔画像診断サービス	-	-	-	-	-	-	153	132	124	-
給食	-	-	-	-	-	-	110	113	119	-
営業利益	△47	301	499	216	469	5	23	63	△63	
メディカルトータルソリューション	-	-	-	-	-	-	△2	40	△80	-
遠隔画像診断サービス	-	-	-	-	-	-	17	9	5	-
給食	-	-	-	-	-	-	7	12	11	-
調整	-	-	-	-	-	-	0	1	0	-



＜参考＞セグメント別業績推移

- 3セグメントとも、2020/9期3Q決算では営業利益率が前年に対して低下。主力のメディカルトータルソリューション事業では、大型案件が端境期にあり、また、競争激化による採算性悪化から営業利益率が低下
- 遠隔画像診断サービス事業でも読影原価の増加により営業利益率は低下。給食事業は比較的堅調を維持

メディカルトータルソリューション事業



遠隔画像診断サービス事業

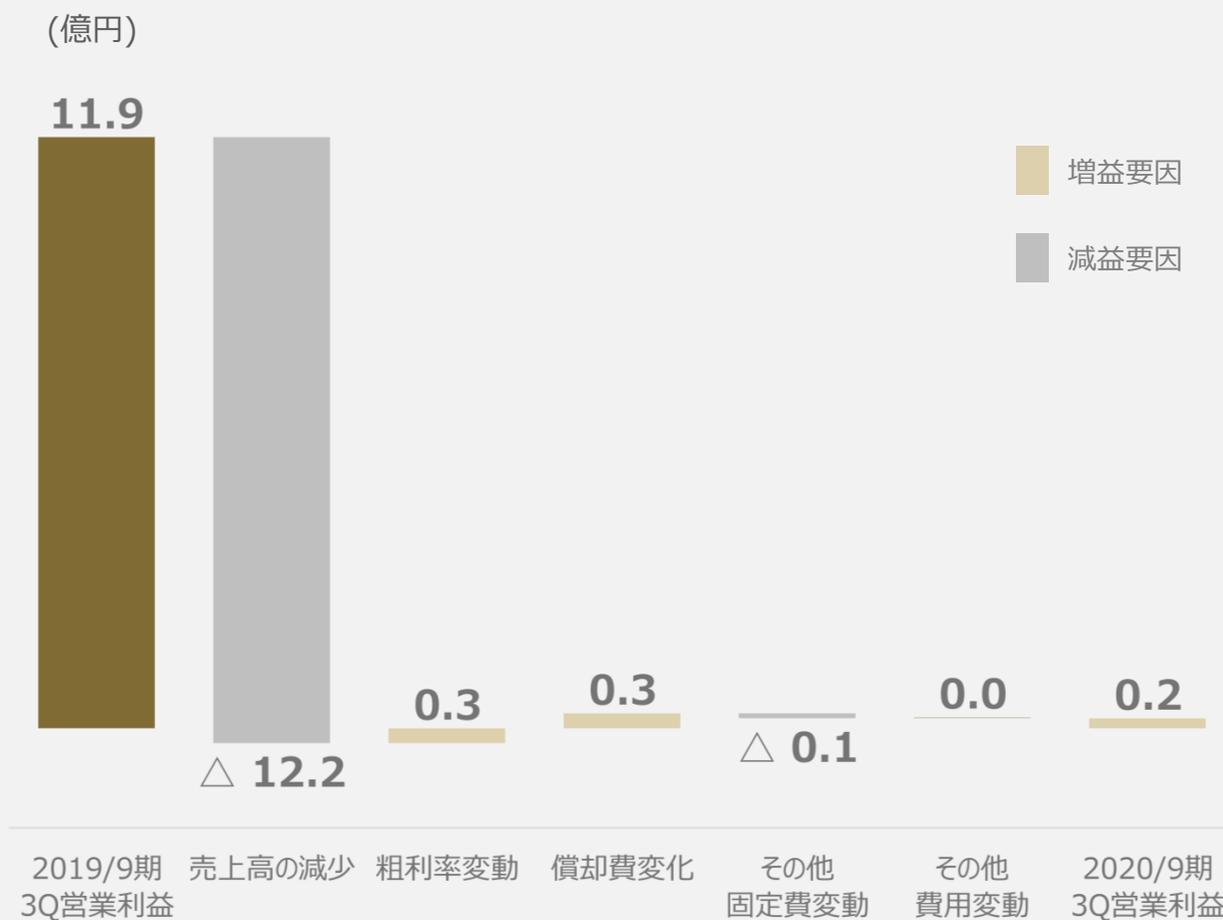


給食事業



2020年9月期第3四半期 営業利益増減要因分析

- 大幅減益の主因は売上の減少。かねてより大型案件は端境期との見通しであったことに加え、当期は特に3Qに売上計上となる大型案件数が少なく、4Qに偏重。売上高、利益ともに過去最高を更新した前期を大幅に下回る結果
- コスト面では、のれん償却費が消失。その他費用も厳しい状況を鑑み抑制基調で推移



- 売上高の減少 △12.2億円
大型案件を中心に端境局面
スポット案件を確保したが、新增改築
案件減少の影響はカバーできず
- 粗利率変動 +0.3億円
営業努力による着実な積み上げにより
採算性が改善
- 償却費変化 +0.3億円
コンサルティング子会社買収にかかる
のれんの償却が消失
- 固定費の増加 △0.1億円
上場関連費用、人件費増



2020年9月期第3四半期 財政状態

- 前期末比では売上債権の回収が進むものの、同時に仕入債務も大きく減少した結果、キャッシュが大きく減少
- 有利子負債はさらに減少。ネットキャッシュ構造に変化はなく、事実上の無借金経営継続
- 増資による純資産の増加と流動資産が大きく減少した結果、自己資本比率は43.3%に上昇(前期末は33.0%)

財政状態の推移

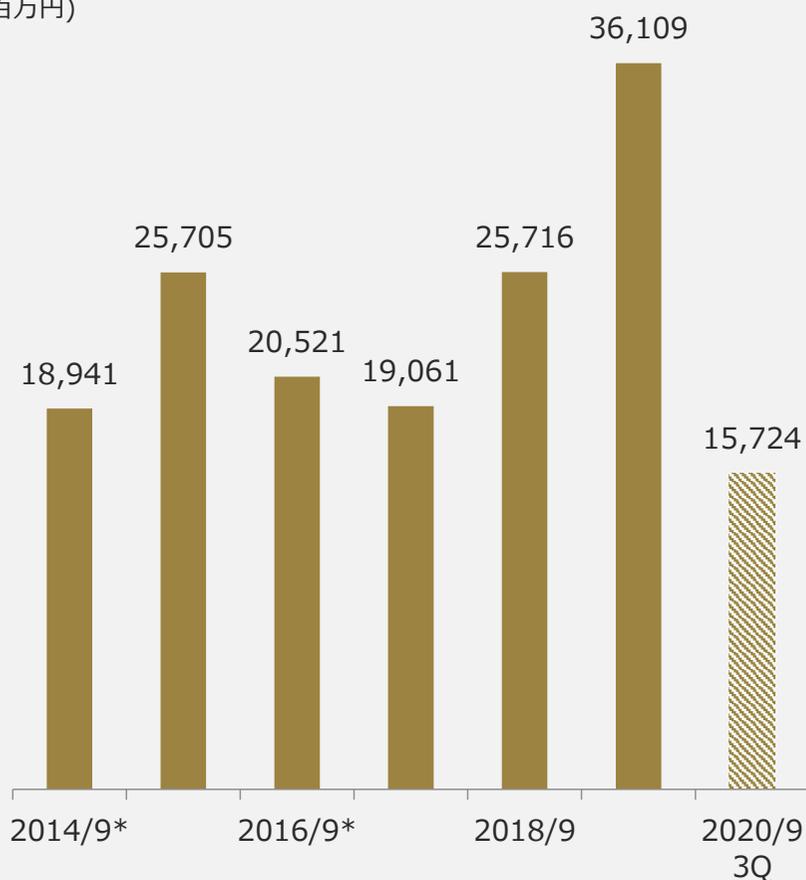
(百万円)	2018/9期	2019/9期	2020/9期3Q	前期差異
流動資産	11,666	11,573	9,299	△2,273
現預金	3,722	6,182	4,403	△1,779
受取手形・売掛金	7,765	5,269	3,870	△1,398
棚卸資産	24	28	33	+5
その他	156	97	992	+895
貸倒引当金	△2	△3	△0	+3
固定資産	1,209	1,241	1,228	△12
総資産	12,875	12,814	10,528	△2,286
負債	9,193	8,474	5,858	△2,615
買掛金	7,162	6,407	3,621	△2,786
有利子負債	565	433	350	△83
その他	1,466	1,632	1,887	+254
純資産	3,682	4,340	4,669	+329
負債純資産合計	12,875	12,814	10,528	△2,286

長期業績推移

- 狩猟型なため、業績面でのボラティリティ発生は不可避。特に、前期は大型案件が集中。2020/9期はその反動による端境期としての色彩濃い。むしろ、仕込みの一年との位置づけ
- 同様の展開は過去にもある。2017/9期は大きく調整したものの、それ以降は仕込みの成果が発現

売上推移

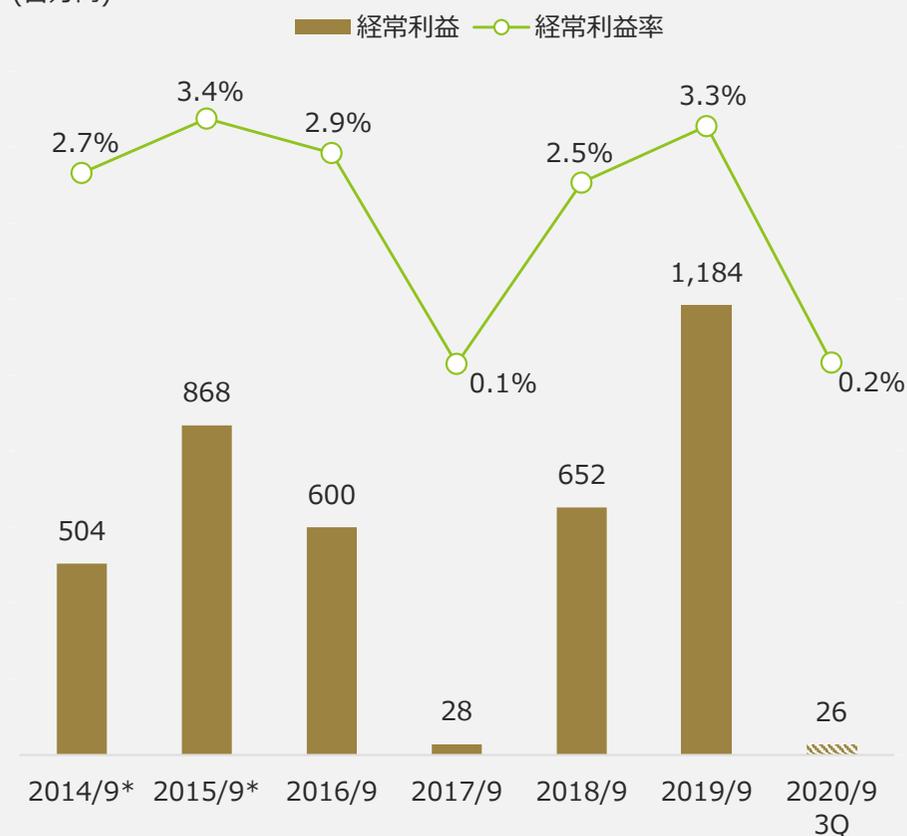
(百万円)



* 単独決算

経常利益推移

(百万円)





2020年9月期 通期業績予想

- 2020年2月14日に公表の通期業績予想に変更はない
- 現時点における新型コロナウイルスによる業績への影響は軽微であるが今後、感染拡大が深刻化もしくは長期化した場合には、事業への影響が出てくる可能性あり
 - ➡ 引き続き、事業及び業績に与える影響を精査
必要が生じた場合は速やかに開示

<2020年2月14日公表の通期予想>

(百万円)	予想値
売上高	23,558
営業利益	140
経常利益	141
親会社株主に帰属する当期純利益	61
1株当たり当期純利益 (円)	31.93



配当方針

2020/9期は 上場記念配当5円を含む1株当たり45円を計画

- 当期純利益の水準低下から、結果的に配当性向は100%を越える見通し
- 将来的に配当性向は20%前後とし、安定的に配当を実施する方針

1株当たり情報の推移

(円)	2018/9期	2019/9期	2020/9期	
			計画	前期差異
1株当たり当期純利益	323.64	411.31	31.93	△379.38
1株当たり配当金	40	40	45	+5
配当性向	12.4%	9.7%	140.9%	+131.2pt

注) 配当性向は、1株当たり配当額/1株当たり当期純利益で算出しております。



会社概要

社名	株式会社レオ克蘭 LEOCLAN Co., Ltd.
代表者	代表取締役社長 杉田 昭吾
設立年月	2001年1月
本社住所	大阪府摂津市千里丘2-4-26
資本金	531,469千円（2020年6月30日）
総資産	10,528,579千円（2020年6月30日）
役員構成	代表取締役1名、取締役7名（うち社外取締役1名）、監査役3名（うち社外監査役3名）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> （1）メディカルトータルソリューション事業 （2）遠隔画像診断サービス事業 （3）給食事業
売上高	15,724,563千円（2020年9月期3Q）
従業員数	162名〈外、平均臨時雇用者数52名〉（2020年6月30日）
グループ会社	<p>メディカルトータルソリューション事業：（株）医療開発研究所、（株）レオ克蘭東海、（株）L&Gシステム</p> <p>遠隔画像診断サービス事業：京都プロメド（株）</p> <p>給食事業：（株）ゲイト</p>



業績・財務ハイライト

決算年月		2015年9月*	2016年9月*	2017年9月	2018年9月	2019年9月	2020年9月期 3Q
売上高	(千円)	25,705,441	20,521,030	19,060,958	25,715,941	36,109,029	15,724,563
経常利益	(千円)	868,300	600,103	28,463	652,381	1,184,035	26,197
当期純利益(親会社株主に帰属する 当期純利益)	(千円)	514,661	391,391	242,509	357,645	732,959	△4,807
包括利益	(千円)	-	-	290,524	396,399	735,628	2,636
資本金	(千円)	123,000	123,000	123,000	331,507	331,507	531,469
発行済株式総数	(株)	4,920	4,920	4,920	1,784,000	1,784,000	1,945,000
純資産額	(千円)	2,068,419	2,451,309	2,905,240	3,682,163	4,340,511	4,669,760
総資産額	(千円)	6,359,753	7,385,322	12,047,141	12,875,910	12,814,634	10,528,579
1株当たり純資産額**	(円)	418,934.63	496,916.47	2,870.05	2,016.04	2,376.58	2,346.08
1株当たり配当額	(円)	2,000	4,000	4,000	40.0	40.0	0.0
1株当たり当期純利益**	(円)	116,412.90	79,713.23	246.95	323.64	411.31	△2.49
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	(円)	-	-	-	-	-	-
自己資本比率	(%)	32.3	33.0	23.4	27.9	33.0	43.3
自己資本利益率	(%)	29.4	17.4	9.0	11.2	18.7	△0.1
配当性向**	(%)	1.7	5.0	16.2	12.4	9.7	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	-	-	△718,460	962,625	2,764,536	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	-	-	107,722	△52,847	△91,784	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	-	-	△7,334	203,275	△213,022	-
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)			2,589,499	3,702,552	6,162,281	4,383,008
従業員数	(人)	98	96	147	153	155	162
(外、平均臨時雇用者数)	(人)	(-)	(3)	(37)	(38)	(39)	(52)

*単独決算

**2015年8月10日付で株式分割(1:2)、2018年9月13日付で株式分割(1:200)を実施。それぞれ2015年9月期期首、2017年9月期期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益額を算定しております。



ご留意事項

当資料は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料に記載されている内容は、当資料発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づく計画、期待、判断を根拠としております。したがって、実際の業績等は、経済情勢等様々な不確定要素の変動によって、記載の業績予想等と異なる結果になる可能性があります。実際に投資を行う際のご決定は、必ず投資家ご自身の判断に基づき、なされるようお願いいたします。

問い合わせ先
IRサポート担当
06-6387-1554
ir-support@leoclan.co.jp